

広
報

天使びょういん



T E N S H I - H O S P I T A L

タイトル:「札幌の子」 撮影:中神 由美子



INDEX

- p2-3 天使こどもメディカルセンター Vol.5
- p4 Inside hospital「透析センター」
- p5 天使病院の天使たち
- p6 エッセイ「わたしの〇〇」(第17回)
- p7 レシピ
「子供の好き嫌いは成長の1段階」
- p8 お知らせ

1. こどもによくある病気

1) 急性中耳炎

急性中耳炎は風邪などをひいて鼻の奥に炎症が生じた際に、耳管という鼻の奥と中耳(鼓膜の奥)のつながる管を経由して細菌やウイルスが中耳に入り、急性の炎症がおきて膿がたまる病気です。小学校の入学までにお子さんの60~70%は一度は急性中耳炎に罹ると言われており、特に2歳以下に多い病気です。新型コロナウイルスが蔓延した時期は皆さんが感染対策をしたためお子さんの中耳炎も激減しました。しかし2023年春頃から日常生活が元に戻るのと時期を同じくしてお子さんの急性中耳炎は急激に増加しており、特に保育園や幼稚園にデビューしたお子さんはたちどころに急性中耳炎になるケースが非常に多くなっています。

急性中耳炎の症状は、ずきずきする激しい耳の痛み、高熱、耳だれ(耳漏)、耳がつまった感じ、難聴などですが、乳児などでは痛みを訴えられないために、機嫌が悪くぐずったり、しきりに耳に手をやったりすることがあります。ちなみに2歳未満の乳幼児の中耳炎でお母さんが初めに気がついた症状の80%が発熱、10%が耳漏、10%が不機嫌、耳触り(当科調べ)でした。高熱のある赤ちゃんは常に中耳炎の可能性を考える必要があります。(図1)

2) 滲出性中耳炎

中耳に滲出液という液体がたまる病気です。10歳頃まで多くみられます。急性中耳炎と違って、強い痛みや発熱をとまわらないのが滲出性中耳炎の特徴です。大人であれば耳の閉塞感や耳鳴り、難聴を訴えますが、小児では難聴が唯一の症状で、自分から言わない場合もあり、気づくのが遅れてしまうこともよくあります。滲出性中耳炎の多くは適切な治療で完全に治ります。ただし、治療には時間がかかる場合も多く、根気よく通院する必要があります。さらに治療が不十分な場合、あとで入院手術が必要になる癒着性中耳炎や、真珠腫(しんじゅしゅ)性中耳炎になってしまうことにも注意です。(図2)

3) アデノイドと口蓋扁桃肥大

通常誰でも5~6歳頃をピークに鼻の奥のアデノイド(咽頭扁桃)と口蓋扁桃は生理的に大きくなります。ただ大きいだけで、あまり症状がないお子さんがいる一方、アデノイドが大きくなると強い鼻閉やいびき、睡眠時無呼吸、中耳炎の難治化が生じることもしばしばです。さらに口蓋扁桃が大きくなると強いいびきや睡眠時無呼吸、陥没呼吸などが生じることがあり、アデノイドと口蓋扁桃どちらも大きい場合も珍しくありません。成長発達にも悪影響を及ぼすこともあり、強い症状がある場合は、手術治療が必要になります。

2. 治療(手術)について

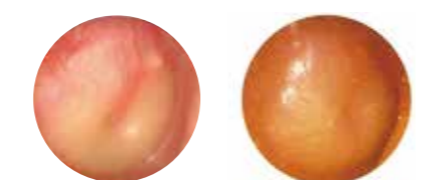
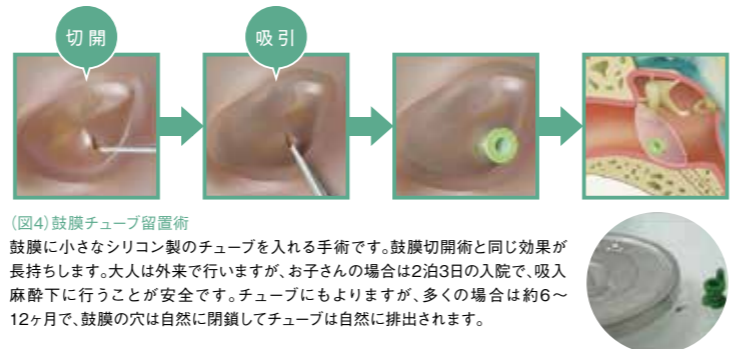
1) 急性中耳炎の治療

- 軽症: 消炎剤などを内服して経過をみます。数日で改善しない場合は抗菌薬を内服します。
- 中等症: 抗菌薬と消炎剤を内服して治療します。数日で改善しなければ、抗菌薬を高用量に変更、または鼓膜切開術などを行います。
- 重症: 抗菌薬の高用量内服や消炎剤の内服、鼓膜切開術などを行います。重症では入院のうえ、抗菌薬の注射と耳の中の洗浄を行います。(図3)

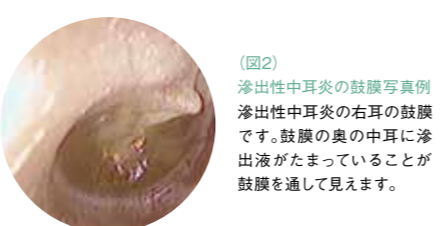


2) 滲出性中耳炎の治療

中耳にたまっている滲出液を除去して、聞こえをよくすることが治療の基本です。滲出液の排出を促す消炎剤の内服をします。副鼻腔炎や鼻炎がある場合は、この治療も同時に行います。治りが悪い場合や聞こえの状態がわるい場合は、中耳にたまっている滲出液を排出させる鼓膜切開術を行います。何度も滲出性中耳炎を繰り返す場合、鼓膜切開をしても短期間で鼓膜の穴がふさがって滲出液が十分に排出されない場合などは鼓膜にチューブを留置する手術を行います。(図4)



●図1 中耳炎の鼓膜写真例
どちらも急性中耳炎になった右耳の鼓膜です。鼓膜は赤くなり、はれています。鼓膜の奥の中耳に膿(うみ)がたまっています。



(図2) 滲出性中耳炎の右耳の鼓膜です。鼓膜の奥の中耳に滲出液がたまっていることが鼓膜を通して見えます。

3) アデノイドの治療

3泊4日の入院で、全身麻酔のうえ、口の中から専用の器具でアデノイドを切除します。止血剤を塗布して終了です。術後は創面に白い膜が付着します。抗生剤や止血剤、鎮痛剤の内服が必要です。2~4週間で完治します。

4) 口蓋扁桃摘出術

全身麻酔のうえ、口の中から専用の器具で両側の口蓋扁桃を摘出します。ピンセット型のラジオ波による凝固装置で止血処置を行い、止血剤を塗布して終了です。術後は創面に白い膜が付着しますが、術後7日目頃にこの白い膜が剥がれて、稀に出血を伴う場合があり、術後7日目は病院で経過していただくため、合計で約11日間の入院が必要です。抗生剤や止血剤、鎮痛剤の内服が必要です。2~4週間で完治します。術後2ヶ月程度かけてのどが広がり、睡眠時無呼吸やいびきは劇的に改善します。

3. 見逃さないでこの症状

耳鼻科の病気は鼻が原因でも、のどが原因でも比較的症状はわかりやすい病気が多いですが、この耳の病気だけは、耳鼻科を受診して、専門的な機器で診断しないと診断はつきません。父親が医師でも自分の子供の中耳炎に気が付かなかったという笑えない話もあるくらいです。乳幼児の場合、風邪をひくとかかりの確率で中耳炎になるので、高熱が続く場合、どろどろの鼻汁が続く場合などは、ぜひ耳鼻科を受診してください。また学童においては小学校での耳鼻科検診で滲出性中耳炎が見つかる場合がしばしばあり、学校から耳鼻科受診を促す黄色い用紙をお子さんがもたらしたら、必ず耳鼻科を受診してください。急性中耳炎を放置した場合、全身麻酔での緊急手術を必要とする急性乳突洞炎という髄膜炎や顔面神経麻痺、回復困難な難聴を伴う内耳炎などを引き起こす重篤な病気になる場合があります(図5)。一方、滲出性中耳炎を放置した場合、治療困難な難聴を伴う癒着性中耳炎に進展する場合もあり、要注意です(図6)。



(図5) 急性乳突洞炎
1歳のお子さんの左急性乳突洞炎です。39度の高熱とともに、左耳の後ろが腫れています。左鼓膜も混濁し、腫れています。このままでは急性内耳炎、顔面神経麻痺、細菌性髄膜炎の危険性があり、全身麻酔下で緊急手術を行いました。



(図6) 癒着性中耳炎
左鼓膜が完全に鼓室(鼓膜の奥)の粘膜と癒着しており、難聴を伴います。何時間もかかる手術治療が必要であり、さらに手術をしても再発することが多い、非常にやっかいな病気です。なので、滲出性中耳炎のうちに治癒させることが大切です。

4. 重症心身障害のお子さんの治療について

嚥下障害や呼吸障害を伴う重症心身障害のお子さんはまれではなく、ときに重篤な誤嚥性肺炎を繰り返す場合があります。誤嚥性肺炎は命にかかわる病気です。そこで、他に有効な治療手段がもうない、という状態になった場合、食べ物を通る経路と呼吸をする経路を分けてしまう誤嚥防止手術が必要になります。当院では誤嚥防止手術として喉頭気管分離手術を小児科の先生と連携して行っています。当院で喉頭気管分離手術を行うようになってから約21年が経過しましたが、この手術により誤嚥性肺炎が生じなくなり、呼吸が改善して喘鳴がなくなり、重症心身障害のあるお子さんの生活の質は確実に改善します。ただし呼吸のための気管孔を管理する必要がでてきますが、難しいものではなく、親御さんに指導させていただくことで安全な気管孔管理が実現しています。

診療を支える専門職 言語療法士(ST)

● 言語療法士のお仕事

言語療法士は、「話す」「聞く」といったことばによるコミュニケーションや、「食べる(安全に飲み込む)」ことにお困りの方に対して、検査や評価を実施し、必要に応じて訓練・指導・助言を行います。対象は多岐に渡り、小児から高齢者まで幅広い方を支援します。天使病院では、聴覚障害、摂食障害(安全に飲み込むことができない)、ことばの発達の遅れに対して専門的に対応しています。

● こんな検査をします

耳鼻咽喉科では、耳に関わる問題を抱える患者さんの聴力検査を中心に行っています。対象となる患者さんは、子どもから大人まで様々です。日々の業務は純音聴力検査などが主ですが、当院は精密聴力検査機関に属しており、新生児聴覚検査(ABR)や乳幼児聴力検査(COR)、遊戯聴力検査も可能なため、聴覚障害をもつお子さんの精密検査も数多く実施しています。

● ここがプロの技!

乳幼児聴力検査は聴覚障害児の診断のために大事な検査ですが、判断が難しい検査でもあります。どれくらいの音が聞こえているかを見極めるには、お子さんの反応を注意深く観察したり、音に対する反応を上手に引き出したりする必要があります。疾患によっては、その先の治療や療育のために早めの診断が必要なお子さんもいるため、できる限り早く、正確に判断できるように心がけています。



見極めが難しい遊戯聴力検査



言語療法士の徳重風優香さん



ご縁に恵まれて、2024年はじめに、天使病院へ赴任いたしました。以前からありました透析室が、この2月26日に、新たに透析センターとして大きくなりました。より本格的な透析医療・腎不全医療の場として、地域の皆さまに役立つようにと思っております。力を尽くします。

透析センターについて

新たな透析センターでは、透析用ベッドが個室2床を含めて、18床に増えました。(今後、随時増床し、最大24床まで)。最新の顔認証システムでの受付です。全患者さまに対して同時に血液ろ過透析(HDF)を実施可能です(高置換液量で)。更衣室などのスペースが広がりました。ベッド間にパーティションを設けて、透析中の安寧な環境を指向しました。WIFI完備でテレビは無料です。シーツは毎回交換しています。医師が常駐いたします。早朝6時台からの透析開始に対応しています。エコー穿刺に対応しているほかに、体組成計により適切な体重設定を実施しています。栄養指導は透析室への訪問で実施しており、合併症については総合病院として全科対応をしています。伝統のある老舗の天使病院として、スタッフ一同「ほっ、とさせていただける」対応を心がけております。ご興味のある方は是非ご見学にいらしてください。ご不明・ご希望につきましては何なりとお申し付けください。

プロフィール

■経歴:1990年北海道大学医学部卒業、1997年同大学大学院博士課程を修了。医学部卒業後は約20年間、脳外科医として研究や診療に従事。2012年より、栗山赤十字病院、伊達赤十字病院、岩見沢市立総合病院、浦河赤十字病院などで透析医療に従事。桑園中央病院、腎臓内科部長を経て2024年1月より天使病院透析室室長。同年2月26日より、透析センター開設に伴い、透析センターセンター長。

■資格:日本内科学会 認定内科医/日本透析医学会 透析専門医/日本透析アクセス医学会 VA血管内治療認定医/透析VAIVT治療医学会 VAIVT認定専門医/透析VAIVT治療医学会 VAIVT血管内治療医/IN.PACT AV DCB実施基準教育プログラム修了/ゴア®バイアバーン®ステントグラフトワークショップ修了/腎代替療法専門指導士/日本腎臓リハビリテーション学会 腎臓リハビリテーション指導士/プライマリケア 認定医・指導医/医学博士

■専門分野について

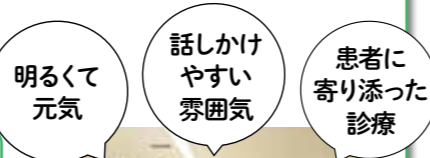
- 透析の全分野で、広く・深い対応ができるようにと思っております。
- シャントなどの透析アクセスについて、血管内手術関連の専門医として、まずは当院で対応を進めます。透析アクセス造設の外科手術も、当院の外科と協力して対応を進めます。
- 当院の現状では短時間透析でiHDFの患者さまが多いのですが、以前の施設では、長時間頻回透析、短時間頻回透析、在宅透析などを実施してきました。中毒・敗血症を対象とした急性血液浄化・CHDFなどにも積極的に対応してまいりました。
- 透析管理は幅広い分野に及びます。総合病院として全科と連携し、腎臓内科として適切できめ細かい対応を進めます。とりわけ、食生活を整えることはとても大事なことだと思っています。
- 医師のキャリアは脳外科で開始しました。当時は緊急手術に明け暮れましたが、研究課題は脳梗塞でした。フリーラジカスカベンジャーという種類の薬の開発・評価が博士号のテーマでした。歴史的経緯から日本の透析医療では脳卒中对応が進んでないところもあるのですが、透析・腎不全患者の皆さまの脳卒中予防+治療については積極的に確実な対応をしていきます。
- 保存期腎不全について腎臓内科外来では、最新の知見に基づき、透析導入しなくてもすむように集中的に対応します。やむをえず透析導入になる場合であっても、腎移植や腹膜透析や透析非導入を含めて、ご本人さまのご意向に添って最善を尽くします。
- 典型的な血液透析・血液ろ過透析のほかに、LDLアフェレーシス・G-CAPなどにも対応しております。潰瘍性大腸炎・クローン病・膿毒性乾癬・関節症性乾癬・タンパク尿を伴う糖尿病・重症下肢虚血などの患者さまが対応になります。ご相談いただければ幸いです。
- などなど、以上、自分の専門の紹介、というより、今後の診療の方向性のお話になっていますが、上記分野を専門領域として進めてまいります。透析・腎不全の治療は長くなります。楽しく整えていけるように、お手伝いさせていただけたら、と思います。

■趣味・特技

学生の時のクラブはオーケストラ・羽球部でした。映画・登山も好きでしたが、下手な料理を作りすぎるせいもあったのか、今はすっかりおながが出て大きな問題です。肥満は万病のもとです。

■田中先生ってこんな人♪(透析センタースタッフより)

田中先生が天使病院に着任してから間もなく透析センターの移転となったので、透析室の雰囲気は環境も含めて一気に変わりました。田中先生はとてもバイタリティーに溢れていて、透析センター全体が元気をもらっています。今まで天使病院にはなかった腎臓内科に加え、脳外科医の経験もあるとのこと、先生のお話から、たくさんのごことを学ばせていただいています。



新しい“天使たち”が仲間入りしました!

今年度も24名の助産師・看護師が天使病院に入職しました! 初日のオリエンテーションでは、新しい環境に、緊張した面持ちで先輩職員の話に耳を傾けていました。さあ、今まで学んできたことを実践する日々が始まります。看護師として一人前になるための数ヶ月間のトレーニングをぜひ元気に乗り切ってくださいね!



天使病院の天使たち、この春から入職した新人天使たちについてご紹介します。

新人天使たちの意気込み

西7病棟

上村 優季さん



勇気をもって一歩前へ

看護師になることができた嬉しさを感じると同時に、緊張感や不安な思いがあります。しかし看護師としてだけでなく、社会人としての自覚を持ち、毎日の新しい学びや気づきを自分の糧として、天使病院に貢献できるよう励んで参ります。

小児病棟

川又 清寧さん



努力を惜しまず日々精進

不安や緊張でいっぱいですが、幼いころからの夢だった看護師として働けることに喜びを感じています。歴史のある天使病院で、心のもった、思いやりのある看護ができるよう一生懸命学習に励んでいきます。

お祝いメッセージ



看護部長

中川 千江子

新人助産師・看護師の皆さん、国家試験合格おめでとうございます。そして、看護師としての第一歩に天使病院を選んでくださりありがとうございます。これからは学生としてではなく、社会人として看護職の責任を負います。時には辛いこともあると思いますが、皆さんには仲間がいます!患者さんに笑顔で過ごしていただけるよう精一杯頑張ってください。当院の理念『訪れたとき、いつも「ほっ」としてもらえる病院である』を忘れずに、どうぞよろしくお願いいたします。



アムシビョウイン エッセイリレー「わたしの〇〇」

第17回 「わたしの双子連れ家族旅行 ～わくわくどたばた珍道中～」

血液内科
五十嵐 哲祥

我が家では年1回くらい家族旅行をしていたのですが、次男が生まれてからはコロナ禍もあり、道内の帰省すら足が遠のいていました。

そんな我が家に昨夏、双子の男児が誕生しました。育児に追われる日々、不平不満を見せず弟たちをせつせと可愛がってくれる長男。彼の誕生日に向けて、その頑張りに応える特別な何かはないだろうか？と考えていると、妻が「カービィカフェの予約取れた！」

1992年から現在まで続いている「星のカービィ」シリーズ、そのコラボカフェ「カービィカフェ」が東京スカイツリー（東京ソラマチ）にあります。凄まじい人気店で、翌月分の予約が始まると5分で予約が埋まってしまふとのことですが、妻は見事に長男の誕生日に合わせて予約を取ってくれました。これは行くしかない！

大人2人に対して子供4人（乳児2人＝大人と同じ人数！）、しかも久しぶりの遠距離旅行。いろいろな教訓もあったので、事前準備や当日の出来事を紹介します。双子乳児を連れた旅行を検討されている方（いるかな？）の参考にできれば幸いです。

メンバー 私(40代)、妻(30代)、長男(7歳・カービィ大好き)、次男(4歳・カービィ好き)、三男(6か月)、四男(6か月)

旅程 1泊2日。9:00自宅出発→11:30新千歳発→羽田→15:00頃ホテルチェックイン→17:30東京ソラマチ着(18:55予約)→ホテル泊。10:00頃チェックアウト→13:00羽田発→新千歳。

他の観光はせず、目的地1つに絞りました。また、早めにチェックインして子供たちの休憩や乳児用品の補充をしました。子供たちは休憩せずはしゃいでいましたが…。現地到着も早くして、店の場所確認や乳児のお世話時間を確保しました。当日はほぼ全てが遅れたので、時間の余裕が大切です。

移動 双子は移動中ずっと抱っこ紐で、長男次男も一人ずつ手をつないで誘導しました。双子用ベビーカーは重く展開・収納も手間がかかるため、非常用として1人用を1台だけ持っていきましたが、これは判断ミスでした。今回の旅行ではベビーカーを 사용하지して、ゆっくり観光するのなら重くても双子用を使った方がよさそうです。

交通・宿泊 飛行機は4人横並びで取りましたが、2人/2人で分かれてもよいと思います。宿泊は全員1室で泊まれて、できれば空港&目的地から乗り換えなしの立地で…となるとかなり限られてしまいます。必要条件が多くなるので、日程が決まっていればなるべく早く予約しましょう。

荷物 2人とも乳児を抱くため、大きな荷物は事前に宅急便で送りました。各自の手荷物として、乳児一人を連れて出かけられる物品（おむつ数枚、哺乳瓶2本、ミルク、着替えなど）を入れたママバッグを2セット用意しました。ホテルに着いたら送った荷物から消費分を補充できます。

- 当日の出来事**
- ・出発準備が遅れて、大慌でのスタートでした。出発時間も遅れる前提で設定しましょう。
 - ・1時間前に空港に着きましたが、昼食(おにぎり)、調乳などで結構ギリギリでした。1時間前には着きたいです。
 - ・離陸してからミルクを飲ませると耳抜きになります。…が、今回は離陸前に飲み干してしまいました。そのまま着陸まで寝てくれたので結果オーライ。
 - ・羽田空港では、男子トイレにおむつ交換台がありませんでした。女子トイレは混むことが多くおむつ交換は時間がかかります。
 - ・最寄り駅からホテルへの経路を調べ忘れるミス。だいぶ迷いました。駅構内も、階段・エレベーターなどまで下調べしておきたいです。
 - ・寝返りする月齢では、掛布団や枕で囲むとベッドからの転落防止になります。我が家での通称は「枕パラダイス」。
 - ・東京ソラマチは男子トイレにもおむつ交換台がありました。
 - ・カービィカフェは可愛く楽しく美味しくかったです。
 - ・駅～ホテルの距離が遠かったため帰りは羽田までバスを利用しましたが、もともとタイトな到着時間の上に渋滞に巻き込まれました。時間に余裕のある移動方法を優先する方がいいかもしれません。
 - ・新千歳空港の男子トイレもおむつ交換台がありませんでした。



枕パラダイス



店舗前で記念撮影



店内の様子

以上、双子乳児を連れた家族旅行での記録と教訓でした。



子供の好き嫌いは成長の1段階

毎日栄養のバランスを考えてご飯を作っているのに、食べてくれないと悲しくなったり、悩んだりしてしまいますよね。食べてくれない時期が長くなると、苛立ってしまう事もあるものです。食に対する興味や関心をいかに引き出すかが食育のポイントとなります。個人の感性による好き嫌いは3歳を過ぎたころから始まり、5歳くらいまでに嫌いなものをハッキリ主張するようになります。嫌いを好きに変えるための方法の1つに、その食べ物に対して親近感を抱かせる方法があります。食べ物へのアプローチは、食べる以外にもあり、お買い物に行ったとき、子供に「どれが一番おいしそう?」と選んでもらうと、食べさせられていた食材が、自分が選んだ食材に変化する体験になります。選ぶ際に食べ物に触れ親近感が湧くと、楽しい経験として受け入れられるようになることがあります。また、苦手な食材を細かく刻んで分からないうちに食べさせた場合、自信がつく体験にはなりませんが、食べた認識はできていません。苦手な食べ物としっかり向き合う経験も必要となります。苦手な食材を使って親子で料理をするだけでも親近感は全く違います。自分で作ったものは特に「食べよう」と意欲的になると言われていますので、食べるまでの過程を楽しめるように、栽培したり、調理したり、料理の作り手側に巻き込んでいきましょう。

管理栄養士 梅津千恵子

にんじんの和風ピラフ



【材料6個分】

- ・米……………2合
- ・人参……………1本(150g)
- ・顆粒だし……………小さじ1/2
- ・塩……………小さじ1/2
- ・バター……………20g
- ・スライスチーズ
- ・海苔
- ・人参+かんたん酢
- ・アスパラ
- ・ブチトマト

*端午の節句用の盛り付けにしました
チーズの型抜き、海苔の目を飾る
人参の甘酢漬けのヒレを飾る
親子で楽しんでください!

【作り方】

- ①米を研ぎ、炊飯器にセットする。(水の量は、大さじ4程度控える)
- ②人参はみじん切りにする。
- ③①に②、顆粒だしと塩を入れ2～3回かき混ぜ、バターを乗せ炊飯する。



餃子の皮ピザ



【材料4枚分】

- ・餃子の皮……………4枚
- ・玉ねぎ……………1/2個
- ・ピーマン……………1個
- ・ブチトマト……………4個
- ・コーン缶……………1/2缶(60g)
- ・ツナ缶……………1缶(70g)
- ・マヨネーズ……………大さじ1
- ・ピザ用ソース……………適宜
- ・ピザ用チーズ……………適宜

【作り方】

- ①玉ねぎは薄切り、ピーマンは輪切りにし、フライパンで火を通しておく。
- ②ブチトマトは4枚に切る。
- ③コーン缶、ツナ缶は汁を切り、マヨネーズと和えておく。
- ④ホットプレートに餃子の皮を敷き、ピザ用ソースを塗る、
①、③、チーズとトマトを乗せ、蓋をして160度で2分程火を通す。



透析室を移転オープン(2月26日～)

西棟1階から附属棟2階へ透析室が移転し、2月26日より稼働開始しました。早朝6:30から透析に対応。移転に伴い、15床から18床へ増床、今後、24床まで順次拡大していきます。

妊婦さん用長期滞在施設「ステイアンジュ」を新設(3月1日～)

敷地内の附属棟3階に、宿泊用の居室を2室新設し妊婦さん用長期滞在施設「ステイアンジュ」として運用を開始しました。妊婦さん用長期滞在施設とは、天使病院で出産をされる遠方にお住まいの妊婦さんが、安心して出産に臨める環境をご提供するために用意した施設です。今までは近くのマンションを借りて運用していましたが、敷地内に設けることで、妊婦さんのニーズをより身近に感じながら、くつろげる環境をご提供してまいります。



糖尿病予防教室について

オンライン(オンデマンド)方式の糖尿病予防教室を開催しています。

視聴期間は掲載から3ヶ月間です。詳しくは天使病院のホームページをご覧ください。



▲ ホームページ

スケジュール(2024年2月～3月)

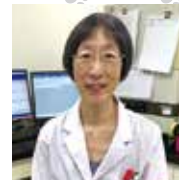
月	タイトル	担当者
2月	体調が悪いときは薬はどうすればいいの?	医師 崎山信哉
	糖尿病と足病変について	看護師 渡辺沙央理
3月	脂質異常症の話	医師 辻昌宏
	ストレッチのすすめ	理学療法士 沢田夏実

4月以降の予定については、改めてご案内させていただきます。

表紙の写真紹介

今回、広報誌の表紙を担当することになりました臨床検査技師の中神です。いつもは病院1階の南東の端にある細菌検査室というところすみっこ暮らしをしています。

写真は北海道を代表する観光名所である道庁赤レンガ庁舎の前庭にある池でくつろぐオシドリの親子です。このお母さんはたいへん子育て上手で昨年は見事7羽のヒナを数々の危機から守り抜きました。ここ数年は5月の末から夏の終わり頃までかわいい姿を見ることができていますので街にお出かけの際は寄り道してみたいかがでしょうか。そっと見守っていると心とむと間違いないです。そして病院1階の「天使のガーデン」も雪解けとともに花たちが咲き始めます。来院の際はこちらも是非お楽しみ下さい。



撮影者: 中神由美子(細菌検査室/愛用機種: canon EOS90D)

広報誌 「天使びょういん」第72号
発行日 令和6年4月15日
発行人 院長 西村光弘
編集 「天使びょういん」編集委員会

編集後記

今年3月の積雪量は平年の1.5倍だったそうです。雪解けも例年より遅い印象ですが、4月1日に入職した50名のフレッシュな新入社員のおかげで、当院は一足早い爽やかな春を迎えています。

表紙は愛らしい野鳥で楽しませてくださった西里先生(循環器内科)から当院内ラボ(第一岸本臨床検査センター)の中神さんへバトンタッチ。数々の賞を受賞されている中神さんのジャンルを問わない写真をお楽しみに!

